

中濃消防組合

消防だより

CHUNO FIRE DEPT. NEWS

vol. **83**
令和元年11月1日発行

特集

新米消防士

いざ現場へ!!

contents

- P2...特集 新米消防士いざ現場へ
- P4...火災予防に関する図画(ポスター)・習字の優秀作品紹介
- P5...人事行政の運営、給与などの状況の公表
- P6...中濃北から南から
- P8...三者間同時通訳サービス開始
おたより紹介
拍子木



日本語が話せなくても119番通報?

「多言語対応三者間同時通訳」サービス開始!!

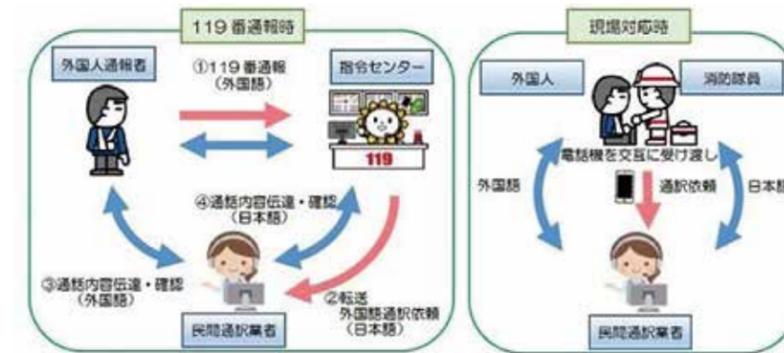
中濃消防組合指令センター(火事や救急の119番通報を受ける所です)では、令和元年6月28日から「多言語対応三者間同時通訳」というサービスを開始しています。これは外国人の方からの119番通報時で通訳を必要とする場合、通報者、指令センター及び民間通訳業者の三者間での相互通訳を行うものです。

今後、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催などで訪日外国人が増加することが予想され、外国人からの119番通報への対応も必要となってきました。また、平成31年4月から新たな在留資格が創設されたことに伴い、県内においても外国人住民の増加が予想されることから、外国人が安全・安心に暮らせるような環境整備が進められたことによります。

救急災害現場などでも対応することが出来るようになってきました。消防の住民サービスにも、国際化が進んでいるのです。



三者間同時通訳システムのイメージ図



対応言語(18か国語)

(英語、中国語、韓国語、タイ語、ベトナム語、インドネシア語、マレーシア語、ネパール語、タガログ語、ミャンマー語、クメール語、モンゴル語、ポルトガル語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ロシア語)

おたより紹介

- ★毎日ご苦労様です。出かける時は必ず火の元の確認をしてから、出かけるようにしています。(関市小瀬 80才 女性)
- ★保育園児の時に消防車に乗せてもらって、楽しかったです。火事の際には、けがをしないように頑張ってください。(関市志津野 10才)
- ★24時間365日、お仕事大変だと思いますが、お身体に気をつけてお仕事なさってください。(美濃市 61才)
- ★昨年の11月に火災予防運動の啓発イベントに行きました。今年もいろんなイベントを楽しみにしています。(関市黒屋 34才)

拍子木

「ほのおのいき」ってなに? 中濃消防組合では、住民の皆さんにより消防を身近に感じていただけるような内容で、日記のようにして作成した記事を掲載しています。



これは、全職員が、消防という仕事をとおして感じていることなど、いろいろなことを記事にしています。ですので、ぜひ一度読んでみてください。また住民のみなさんからのご意見等もお待ちしております。

「ほのおのいき」も見てね!!

中濃消防組合消防本部 総務課 〒501-3906 関市西欠ノ下5番地
TEL (0575)23-9090 FAX (0575)24-6996
消防テレフォンサービス TEL (0575)24-8814(はやいよ)
救急医療案内 TEL (0575)23-3799(みんなのきゆうきゆう)

中濃消防組合ホームページ
<http://www.chunou-119.jp>



8名の新鋭消防士たち 紹介します!!



松久 瑠依 (19)

①防火衣を着ての訓練塔(地上7階)の階段駆け上がり訓練です。
②仲間からも、住民からも信頼される消防士になりたいです。



河合 将太郎 (22)

①138タワー(一宮市)を何度も走って昇ったことです。
②住民の方々から信頼される消防士になりたいです。



硯見 智宏 (24)

①猛暑日に防火衣を着て放水訓練をしたことです。
②地域に貢献できる消防士になりたいです。



服部 凌大 (19)

①約8kgあるホースを担いでグラウンドを走ったことです。
②人から尊敬される消防士になりたいです。



藤原 大晟 (21)

①空気呼吸器を着装し濃煙の建物内へ入り、要救助者を助ける訓練です。
②住民の方から信頼される消防士になりたいです。



河江 峻知 (24)

①約30kgあるはしごを持って走ったことです。
②一人でも多くの人を救える消防士になりたいです。



後藤 祐基 (19)

①はしご(約9m)を何度も昇り降りしたことです。
②苦しい時こそ苦しい顔をしない消防士になりたいです。



伊藤 翼 (22)

①40kmを歩いた体力競争訓練です。
②現場で先輩に負けたくないくらい自分から動けるようになりたいです。

現地研修中(8月・10月)もたくさんの訓練を実施!



火災防ぎょ訓練



ロープ渡過訓練



救急訓練



岐阜県消防学校(各務原市)

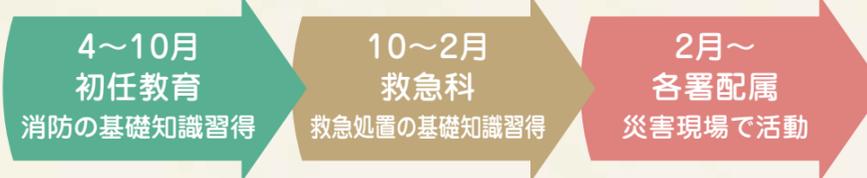
特集

新米消防士 いざ現場へ!!

今年の4月から中濃消防組合の消防吏員として、8名が新規採用されました。

この8名は、今年4月3日から10月1日までの約6ヶ月間、岐阜県消防学校(右の写真)の初任教育科へ入校し、消防士としての基礎を学び、厳しい訓練に励んできました。

新規採用後のスケジュール



消防学校のカリキュラム

法律	特殊災害	消防ポンプ	消防活動訓練	救助訓練
・地方自治法 ・消防法など	・高圧ガス ・毒劇物 ・火薬類など	・水力学 ・ポンプ工学など	・放水訓練 ・人命検索訓練など	・ロープ取扱い訓練 ・水難救助訓練



授業風景



手帳点検



三連はしご取扱い訓練

消防学校の一日

時間	内容	時間	内容	時間	内容
6:30	起床	9:00~	授業	18:30	夕食
6:40	点呼	12:00	昼食	19:00	自由時間(入浴)
7:00	清掃	13:00~	授業	20:30	自習
7:30	朝食	17:00	清掃	22:10	点呼
8:30	通常点検(制服)	17:30	課外(体力強化)	22:30	消灯

津保川出張所

洪水ハザードマップ



まだ記憶に新しい「平成30年7月豪雨災害」。中濃消防組合の管内で、特に被害の大きかった上之保地域。この地域では、河川の氾濫により約400棟近い家屋が浸水被害を受けました。

このようにいつ起こるか分からない豪雨災害の対策として「洪水ハザードマップ」があるのをご存知ですか。

これは、関市・美濃市のホームページに掲載されており、避難場所はもちろん、地域ごとの浸水時の深さや、土砂災害警戒区域が分かりやすく記載してあります。このマップを見ることで、地域の避難場所や危険箇所を事前に把握でき、災害時に適切な避難等ができると思います。是非一度確認してみてください。

いざという時に自分や家族を守るのは「あなた自身」です。いつ起こるか分からない災害に備えましょう。



洞戸出張所

消防を身近に、災害のない町づくりへ

先日、地元の小学生が消防署見学に来てくれました。内容は消防車、救急車の見学や防火衣装着体験です。また、普段は見られない食堂、仮眠室、お風呂場そしてトイレまで見学してもらい、24時間勤務である私たちの生活を知ってもらいました。

「火災がないときはどのような仕事をしているのだろう?」、「出勤があったら2階から滑り棒で降りてくるの?」など、消防の仕事は小学生にとって謎ばかりです。見学をしてもらうことで消防の仕事に興味を持ち、理解し、より身近に感じてもらえると思います。

小学生の消防署見学以外にも、幼稚園児の訓練や中学生の職場体験など、子どもたちが消防に触れる機会は多くあります。「将来は消防隊員になりたい!」と思ってもらえれば幸いです。こどもたちの防災・防火意識を育み、少しでも災害のない町づくりに繋げていきたいと思ひます。



美濃消防署

救命講習の成果

今年の夏も美濃消防署管内の長良川や板取川は、たくさんのレジャー客や釣り人などで大にぎわいでした。

そんな中、板取川へ鮎釣りに来ていた男性が、溺れて心肺停止となった6歳男児を心肺蘇生法により救命した事例がありました。

この事は新聞などでも報道され、感謝状も送られました。男性は、「勤務する会社が年2回実施する救命講習を受講し、その経験がとっさの行動に結びついた」と話されていました。

実はその会社の救命講習を毎年指導させて頂いているのが美濃消防署なのです。正に指導者冥利に尽きる出来事でした。

消防署ではひとりでも多くの命を救うため、市民の方に救命講習を実施しています。あなたの大切な人がもしもの時、何もできず後悔しないためにも救命講習を受講してみませんか?家族連れでも構いません。

私たちが全力で指導させていただきます!!



中濃北から南から

～各署所のできごとを紹介します～



関消防署

真夏の現地研修

毎年、お盆の時期を迎えると、関消防署に消防学校で初任教育中の新人消防士が現地研修にやって来ます。今年は、8月5日から16日までの2週間、本研修を行いました。

研修の内容は救助訓練がメインで、7mの高さから垂らしたロープの登り降りや、20mの長さの張ったロープを渡ります。最初から簡単にできませんが、先輩消防士から「覚えろ!できるよになれ!」、「仲間に助けられてどうする!!」と厳しい言葉がかけられます。厳しい言葉には理由があり、救助の現場で助けを求めている人の所へ行けない、助けに行く人が仲間に助けられてはダメだからです。決してパワハラではありません。

炎天下の中、とても暑く大変厳しい訓練でしたが、新人消防士8人は必死に取り組み、無事にやり遂げました。

これから、更に成長して消防学校から戻ってくるのが楽しみです。



武芸川出張所

先生たちの熱い思い

「生徒の意識と呼吸がありません!早く助けに来てください!!」

中学校の先生からの119番通報。指令センターからの指示により、現場では先生が生徒に胸骨圧迫(心臓マッサージ)を始めました。また別の先生は職員室にあったAED(自動体外式除細動器)を持って教室に飛び込んできました。緊迫した教室。一刻を争う事態の中、動き回る先生たち。全ては大切な生徒を救うために…!

実はこの写真、実際に武芸川中学校で行われた先生たちの訓練の1コマなんです。

この訓練は生徒が帰ったあと、先生たちだけで行われました。119番通報する先生、担架やAEDを持ってくる先生、他の生徒たちを別の教室へ誘導する先生、到着する救急隊員の誘導に向かう先生など、それぞれの役割を真剣にこなし、見事に連携していました。「絶対に生徒を助けたい!」そんな熱い思いが伝わってくる訓練でした。

今年の夏、気温以上にもっと熱い先生たちによる訓練が、武芸川では行われていたんですよ。

